

平成19年度 平間こども文化センターの管理運営に対する評価について

1 指定管理者

(1) 指定管理者	財団法人かわさき市民活動センター
(2) 指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日
(3) 業務の範囲	平間こども文化センターの管理運営に関すること 平間小学校・下河原小学校わくわくプラザの管理運営に関すること

2 管理運営（事業執行）に対する評価

評価項目	平成19年度管理運営の状況	評価及び指導
(1) 管理業務の実施状況		
施設の運営に関する職員体制に関すること	①人的能力の充実を図るため職員の児童厚生員資格取得を進めると共に、新規採用職員は業務に関する資格取得者から選考しました。②本部の職員体制については管理係長1名、区運営担当主査を3名配置して各館との連携強化を図りました。	職員の業務に関する資格の取得を進めたこと、また本部職員の充実によりかわさき市民活動センターが管理運営している他のこども文化センターとの連携を図ったことは評価できる。職員の研修については、スケールメリットを生かし、大規模な研修を実施し、また、指定管理施設の各区、施設単位での研修も実施することにより職員のスキルアップを図っていたことは評価できる。今後もこども文化センター及びわくわくプラザの職員配置が適切に行われるよう努めること。
施設の管理運営に対するニーズ等の把握に関すること	運営協議会、定期的な子ども会議、地域教育会議からニーズの把握ができました。わくわくプラザにおいても、毎月の子どもの会議や、学期ごとの保護者懇談会を行いました。また意見箱の設置により意見の収集に努めました。	継続的に利用者や地域住民からの意見・要望等を聞きニーズの把握に努めていたことは評価できる。意見箱の活用等により積極的にニーズの把握に努めていたことは評価できる。
サービスの提供に関すること	多くの地域の方に気軽に楽しく参加いただける行事の設定をし、実施できました。幼児向け行事の実施・幼児専用の安全に過せる場所を用意し、また、研修を行う等、子育て支援を実施できました。定期的な行事の設定により参加を増やすことができました。必要に応じた情報の提供をしました。	運営協議会や子ども会議等を実施しサービスの提供を行っていた。また、ホームページの内容をより充実させていたことは評価できる。障害児については、障害児相談員を雇用し、必要に応じ職員の相談を行い障害児の対応を充実させていたことは評価できる。
事業の実施に関すること	事業計画に基づき、センター祭りを実施し、600人の参加を得ました。計画以外に囲碁と流し素麺、餅つき等を開催することができました。多くの運営協議会メンバー・地域ボランティアの協力を得、地域交流を行えました。	運営協議会等との連携により地域のニーズに合った行事を実施したことは評価できる。今後、ボランティアの活用にも努めること。

個人情報の取扱に関する事	個人情報（申請書や登録表）は申請者同意のもと、記入していただき収集しています。情報を収集する際には個人情報保護法に基づき取り扱うことを伝えました。個人情報は鍵のかかる場所で保管しています。情報の持ち出し禁止を徹底しています。定められた保管期間後はシュレッダーにより破棄しています。	個人情報の取扱については、概ね問題なく処理されている。
施設の安全管理に関する事	毎日の遊具点検・館内の整備・各部屋の安全確認を行いました。館の外周の点検を実施しました。危険箇所の改善・危険物の撤去を必要に応じて実施しました。	毎日の清掃や始業時の点検を行い、安全性に努めている。
(2) 利用状況		
①こども文化センター	<p>延べ利用者数 30,690人 延べ団体利用数 4,400団体 （主な行事等） 天下ドッジボール センターまつり</p> <p>（特色のある行事） 芋煮会</p>	地域の状況に合わせた特色ある行事の実施している。また、地域との連携を図り行事を実施していることは評価できる。行事の実施に当たっては、具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。
②わくわくプラザ	<p>1 平間小学校わくわくプラザ 登録者数 176人 延べ利用者数 10,058人 （主な行事等） 本や紙芝居の読み聞かせ 折紙工作</p> <p>（特色のある行事） 郊外活動「林試の森公園」</p> <p>2 下河原小学校わくわくプラザ 登録者数 105人 延べ利用者数 8,270人 （主な行事等） けん玉検定 カレーの日</p> <p>（特色のある行事） 郊外活動「林試の森公園」</p>	行事については、順調に実施されている。利用状況は具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。

評価項目	平成19年度管理運営の状況	評価及び指導																																	
(3) 収支状況																																			
① 収支状況	<p style="text-align: right;">(単位：円)</p> <table> <tr> <td>収入</td> <td>指定管理料</td> <td>48,689,670</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>人件費</td> <td>37,798,772</td> </tr> <tr> <td></td> <td>管理費</td> <td>2,206,964</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事務経費</td> <td>1,937,847</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他経費</td> <td>1,436,042</td> </tr> <tr> <td></td> <td>青少年事業資産取得支出</td> <td>909,090</td> </tr> <tr> <td></td> <td>減価償却引当資産取得支出</td> <td>40,492</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第1回精算に伴う返納金</td> <td>636,363</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第2回精算に伴う返納金</td> <td>3,000,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>47,965,570</td> </tr> <tr> <td></td> <td>差引</td> <td>724,100</td> </tr> </table>	収入	指定管理料	48,689,670	支出	人件費	37,798,772		管理費	2,206,964		事務経費	1,937,847		その他経費	1,436,042		青少年事業資産取得支出	909,090		減価償却引当資産取得支出	40,492		第1回精算に伴う返納金	636,363		第2回精算に伴う返納金	3,000,000		合計	47,965,570		差引	724,100	<p>事業実施後指定管理料の残額を戻入しており指定管理料の範囲内で事業の実施を行っている。今後は収支のバランスを考慮しつつ、事業をより充実させるため適切な経費の執行を図ること。</p>
収入	指定管理料	48,689,670																																	
支出	人件費	37,798,772																																	
	管理費	2,206,964																																	
	事務経費	1,937,847																																	
	その他経費	1,436,042																																	
	青少年事業資産取得支出	909,090																																	
	減価償却引当資産取得支出	40,492																																	
	第1回精算に伴う返納金	636,363																																	
	第2回精算に伴う返納金	3,000,000																																	
	合計	47,965,570																																	
	差引	724,100																																	

3 管理運営（事業執行）に対する全体的な評価

指定管理以前から委託事業者としてこども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に携わっていた経験を生かし、また、全市58施設の内55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、施設ごとに偏りの無いサービスの提供を行っており、区ごとのこども文化センター合同行事の実施や全市規模の行事の実施を行っていた。行事の実施についても施設ごとに特色ある行事を実施していることは評価できる。また、各施設を統括する本部職員を配置することにより、他のこども文化センターと連携を図り管理運営を行っていたことは評価できる。

55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、安定した経営を行っていたことは評価できる。

4 来年度の管理運営（事業執行）に対する指導事項等

次年度も引き続き55施設の指定管理者として安定した経営、他施設と連携した行事等スケールメリットを生かした管理運営を実施すること。事業の実施に当たっては運営協議会を始め地域と連携し、より一層地域の状況に合わせた特色ある行事の実施等を行うこと、また目標利用者数を設定する等具体的な数値目標を設定し客観的に事業の達成状況が分かるようにすること。